

障害者の生涯学習支援

～生涯学習に係わる効果的な学習プログラムの実践～

千葉県立特別支援学校市川大野高等学園 電話 047-303-8011

FAX 047-303-8191



研究のポイント

学校を卒業した障害者が、社会で自立して生きる上で必要な学びのニーズを探るために行ったアンケート調査をもとに、「学ぶ」プロジェクト、「楽しむ」プロジェクト、「つながる」プロジェクトを実施した。各プロジェクトを実施するにあたっては、先進校等の視察を積極的に行った。また、取組について様々な立場から意見をいただき、議論する場として生涯学習支援連絡協議会を設置した。

■学校の概要 <https://cms2.chiba-c.ed.jp/ichikawaono-sh/>

知的障害のある生徒の社会的・職業的自立を図ることを目的とし、千葉県で2校目の専門学科を置く高等部単独の特別支援学校として、千葉縣市川市に平成24年4月に開校した。

職業に関する専門学科として、園芸技術科、工業技術科、生活デザイン科、流通サービス科の4つがあり、各学科24名、1学年96名の定員となっている。4つの専門学科はさらに9つのコースに分かれ、それぞれが本物のものづくりやサービスを目指し、実践を積み重ねている。「本物の働く力」「確かな生きる力」「豊かな学校生活」「地域とともに」をキーワードとして、将来の社会的・職業的自立を目指し、働く生活に必要な基礎・基本を育み、豊かな生活を送れる人材の育成を図る。

■研究課題

学校卒業後の障害者が、社会で自立して生きる上で必要な学びや支援を明らかにし、具体的な学習プログラムや支援体制等について考察する。

■研究の目的と方法

【目的】

学校卒業後の障害者が、社会で自立して生きる上で必要な学びや支援を明らかにし、卒業生の余暇の充実や社会生活への移行を支援する。

【方法】

- ・「学ぶ」プロジェクト、「楽しむ」プロジェクトとして、生涯学習講座を実施する。
- ・「つながる」プロジェクトとして、在校生、卒業生へ向けてそれぞれ情報提供や外部講師を活用した学習プログラムを実施する。
- ・生涯学習支援連絡協議会を設置し、地域の関係者や関係機関と意見交換し連携を図る。
- ・在校生、生涯学習講座受講生へ「卒業後の学びに関するアンケート」を実施し、実態把握を行う。
- ・卒業生対象の生涯学習支援を行っている先進校等の実践を学ぶ。

■研究概要

【主な実践】

I 生涯学習講座 ～「学ぶ」プロジェクト、「楽しむ」プロジェクト～

- ・1年目のアンケート調査から作成した学習プログラムをもとに、卒業生向けの生涯学習講座を年3回（4講座）実施した。
- ・「学ぶ」プロジェクトでは「支援を受けながら暮らすとは？」というテーマで、グループホームやひとり暮らしについて学ぶ講座を実施した。
- ・「楽しむ」プロジェクトでは「疲れをとるリンパコンディショニング」「グラウンドゴルフ」「ゴールボール・シッティングバレー」の講座を実施した。

II 「つながる」プロジェクト

- ・卒業生向けに SNS のアカウントを作成し、本校で実施する生涯学習講座の案内、参加申込等に活用した。
- ・在校生向けに、千葉県内で開催されている公開講座やサークル活動、施設開放事業等について、校内の掲示板で情報提供を行った。
- ・在校生が社会資源を知ること、活用することを目的に、千葉県立美術館や西部図書館の事業を活用して、外部講師による授業を実施した。
- ・地域のスポーツ団体と在学中からかわることを目的として、部活動（サッカー、テニス、卓球）の外部講師に地域人材を活用した。
- ・地域の社会資源、活動を知ること目的として、公民館主催の講座を本校会場にして、本校生徒が講師となって実施した。

III 生涯学習支援連絡協議会の設置

- ・地域の関係者で構成する生涯学習支援連絡協議会を設置し、意見交換を行った。

IV アンケート調査

- ・卒業生や在校生の学びのニーズを把握するため、有効な情報発信のツールを明らかにするため、卒業生と在校生にアンケートを実施した。

V 先進校等の視察

- ・NPO 法人「障がい児者の学びを保障する会」、株式会社舞浜コーポレーションの視察を行った。

【成果】

I 生涯学習講座の実施

- ・講座の参加状況やアンケートから学びのニーズを把握することができた。
- ・地域の資源を活用し、講座の講師を開拓、内容を充実させることができた。

II 視察を通じた学び

- ・企業との連携、当事者参加の企画運営等、多様な視点を得ることができた。

III 情報提供手段の拡大

- ・SNS のアカウントを開設し、情報提供のために運用することができた。

【今後の展望】～持続可能な取組のために～

- ・生涯学習支援連絡協議会を生かした企画運営の仕組みをつくる。
- ・コストのかからない情報提供、講座運営等の方法を模索する。
- ・卒業生を地域へつなげるための情報提供、相談支援等の充実を図る。

関連資料

- ・学校卒業後の障害者の学びに関するアンケート（アンケート用紙・調査結果）
- ・生涯学習講座の案内 等